
コンソーシアムセントラル構成ダッシュボード

Note

(2026年2月開始) メンバー機関向けに高度なメンテナンスおよびトラブルシューティングサービスを提供するサポートサービスに関する情報は、[サポートサービス](#)を参照してください。
共同ネットワークに関するオンラインヘルプページへのリンクについては、「[コラボレーションネットワーク](#)」を参照してください。

中央設定ダッシュボードの概要

Note

この機能は、Alma ネットワーク ゾーンにのみ関連します。

コンソーシアム中央設定ダッシュボードは、ネットワークゾーン機関におけるコンソーシアムメンバーの設定管理を担当する中央事務局オペレーターの操作体験を向上させます。このダッシュボードを使用することで、各メンバー機関に個別にログインすることなく、ネットワークゾーン内のすべてのメンバー設定へ簡単にアクセスできます。これにより、セントラル オフィスがメンバーに代わって行動する場合にメンバーの構成の管理が容易になり、ネットワーク ゾーン構成をコンソーシアム メンバーに配布できるようになり、すべてのメンバーまたは選択したメンバー間で構成が統一されます。

この構成管理ダッシュボードは、ネットワーク ゾーン (NZ) レベル、機関ゾーン (IZ) レベル、および図書館レベル (該当する場合) のすべての Alma レベルにわたる構成の管理を効率化するように設計されています。

この概要では、ネットワーク ゾーン機関向けにカスタマイズされたコンソーシアムセントラル構成ダッシュボードのさまざまな機能について説明します。

このダッシュボードの主な要素は次のとおりです：

- ネットワークゾーン構成セクション：Alma 構成メニューの下にあるアイコンを使用すると、コンソーシアムセントラル構成ダッシュボードへと簡単にアクセスできます。
- テーブルレベルの継承：全体的な構成が一度にプッシュされます。
- 行レベルの継承：行レベルで構成を配布する機能が強化されました。
- すべてのアクションを配布：テーブルのすべての行を一度に配布するオプション (テーブル レベル ビューと行レベル ビューの両方で使用可能)。
- 選択したアクションを配布：選択した行を配布するボタン。確認メッセージの詳細が表示されます (行レベルの継承でのみ使用可能)。

このダッシュボードにより、ネットワーク ゾーン オペレーターは、次の主な機能を含む構成を包括的に管理できるようになります：

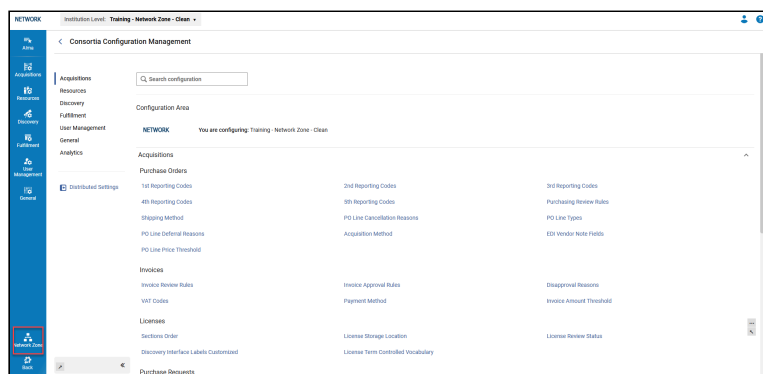
- ネットワークゾーン構成を定義する：Alma 設定サイドバーのネットワーク ゾーン アイコンからアクセスできます。
- メンバー構成間の移動：機関レベルと図書館レベルの両方でコンソーシアム メンバー構成間を簡単に移動できます。

- 事前定義されたダッシュボード配信モード: 提案、強制、ハイブリッドのモードがあります。
- 選択的配布: テーブル全体または特定の行をコンソーシアムの選択したメンバーに配布します。
- 機関の選択: オペレーターは、配布対象を単一または複数の機関やグループに指定できます。

Note

選択タイトルは「配布先の機関を選択してください」です。

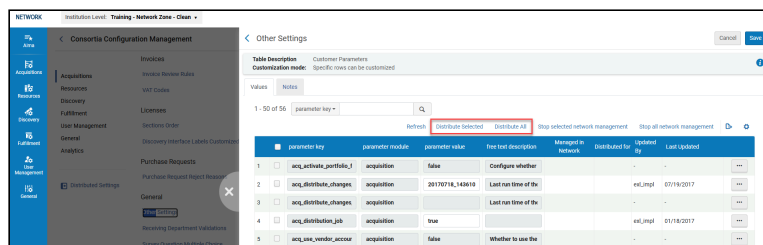
- 配布表示: 明確なインジケータは、テーブルまたは行レベルで、エンティティがどの機関ゾーンに分配されたかを示します。
- 機関とネットワークの構築: 機関の構成を表示すると、どのテーブル/行が機関によって作成され、どのテーブル/行がネットワークによって作成されたかが明確になります。



コンソーシアムセントラル構成ダッシュボード

リアルタイム配信メカニズム

リアルタイム配布メカニズムにより、構成を配布できます。ネットワークゾーンのオペレータは、ネットワークゾーン設定を管理するときのみ表示されるすべて配布または選択したものを配布 ボタンで、特定の設定を選択して必要なメンバーに配布することができます。

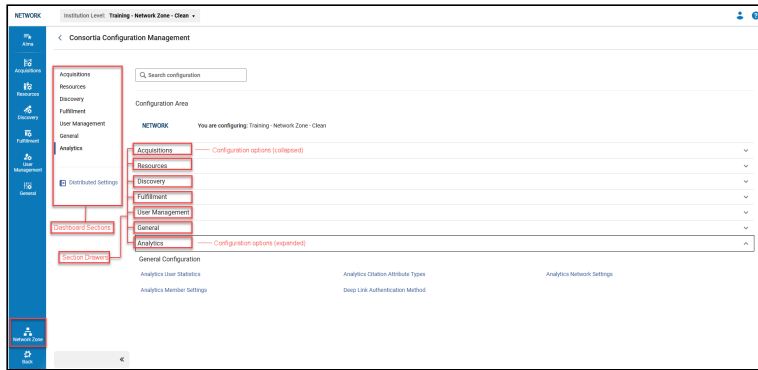


コンソーシアムセントラル構成配布ボタン

コンソーシアムセントラル構成ダッシュボードへのアクセス

コンソーシアム セントラル構成ダッシュボードにアクセスするには、次の手順を実行します：

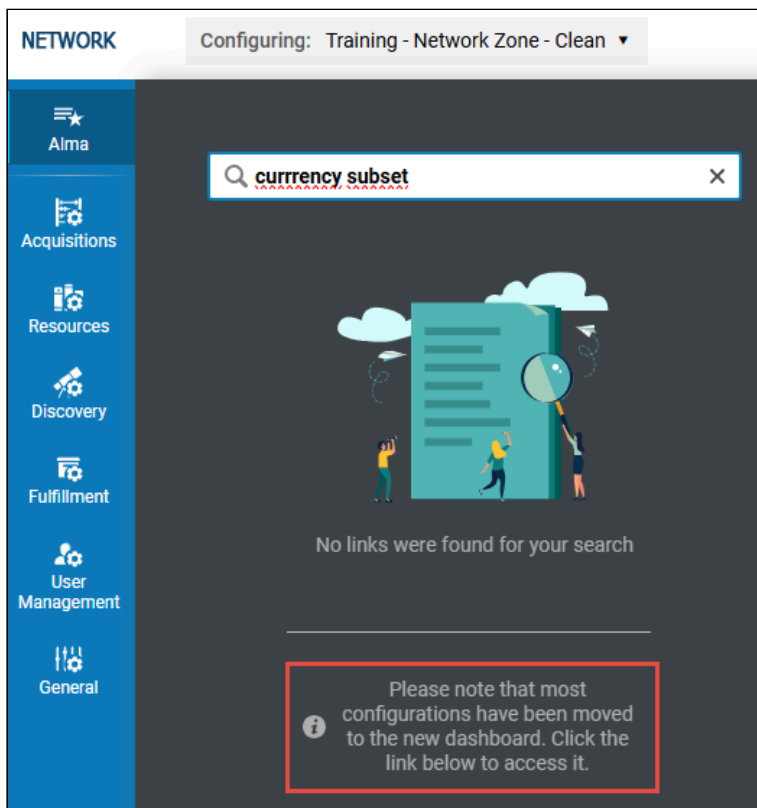
- Alma UIから、設定メニュー> ネットワークゾーンを選択します。
- コンソーシアム セントラル構成ダッシュボードが表示されます。



コンソーシアムセントラル構成ダッシュボード

Note

Alma の設定検索で結果が 0 件だった場合、設定にアクセスするためのダッシュボードへのリンクが表示されます。

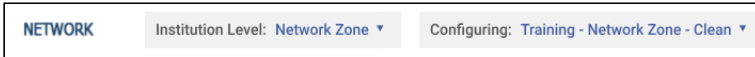


Alma のコンソーシアム構成ダッシュボードへのリンク

コンソーシアムセントラル構成ダッシュボードについて

ダッシュボードには、以下の 3 つの主要なセクションが表示されます。[ダッシュボードタブ](#)、[ダッシュボードセクション](#)、および[ドロー](#)。

ダッシュボードタブ



タブを使用すると、ネットワークゾーンオペレーターは次の設定オプションを選択して表示します：

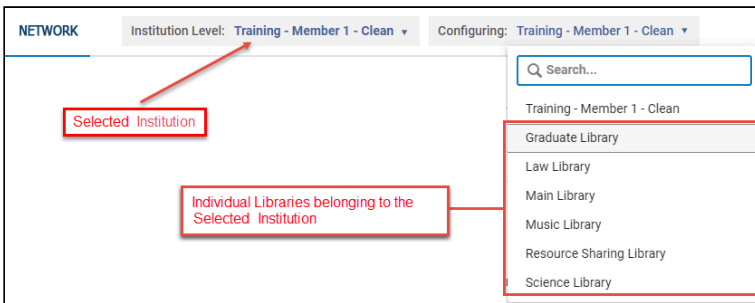
- **機関レベル:**すべてのコンソーシアムメンバー、ネットワーク、機関のドロップダウンリスト。ネットワークゾーンオペレーターはここで、作業する機関を選択します。
- **設定:** 選択した機関のすべてのライブラリのドロップダウンリスト。

ネットワークゾーンオペレーターは、ネットワークゾーンレベル、機関レベル、ライブラリレベルでの構成の管理を簡単かつ瞬時に切り替えることができます。

機関レベルタブで機関を選択すると、設定タブが表示され、ドロップダウン矢印を選択すると（



）選択した機関に属する図書館を表示します。

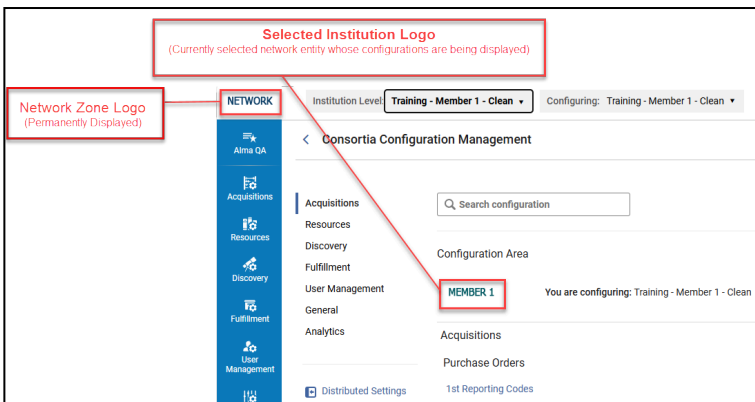


ダッシュボードタブのドロップダウンオプション

機関およびネットワークメンバーのロゴ

ネットワーク機関のロゴは永久に Alma ページの左上隅にネットワークメンバーのロゴが表示され、ダッシュボードの構成領域セクションに表示されます。

構成エリアセクションには、ネットワークゾーンオペレーターが現在構成を表示しているネットワークエンティティ（ネットワークや機関など）のロゴが表示されます。このセクションのロゴは、現在選択されているネットワークエンティティに合わせて動的に調整されます。



ネットワークロゴの表示

ダッシュボードのセクションとドロワー

セクションにより、ネットワークゾーンのオペレーターは、Almaで選択された機関またはネットワークの様々な管理設定オプション（例えば、受入、フルフィルメント、リソース共有など）を簡単にナビゲートすることができます。

Note

現在ダッシュボードに埋め込まれているのは、Almaのコードテーブル、マッピングテーブル、ルール（部分的）に関連する設定オプションのみです！

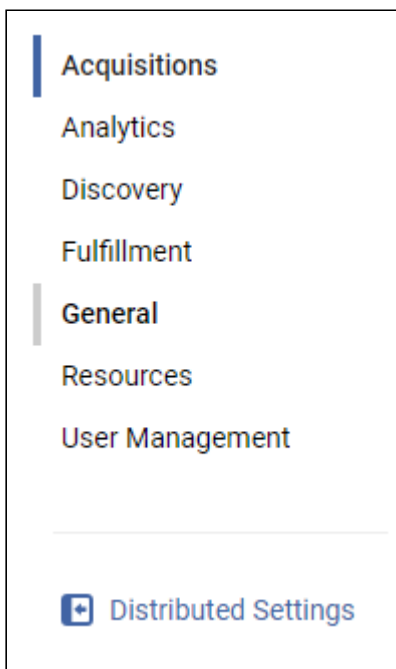
今後のリリースでは、追加の構成オプションが徐々に追加される予定です。

セクションを選択すると、画面右側のセクションのドロワーにセクションの設定オプションが表示されます。

Note

各セクションの構成オプションは、機関や図書館のシステム構成、およびネットワークゾーンオペレーターの役割によって異なる場合があります。

ダッシュボードで利用可能な設定の完全なリストについては、[セクションと設定オプション](#)を参照してください。



セクションメニュー - コンソーシアム セントラル設定ダッシュボード

コンソーシアム設定の管理

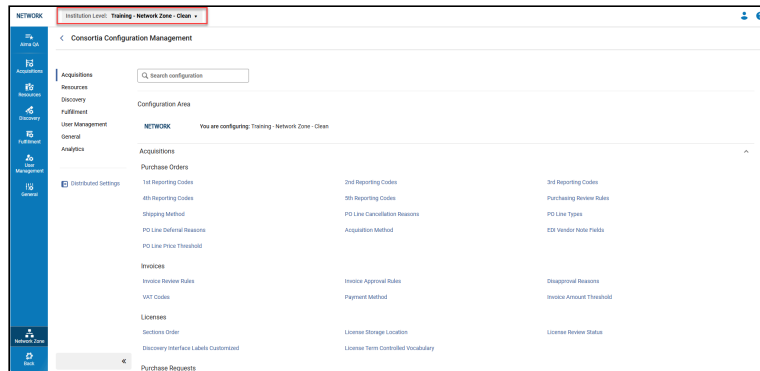
ネットワークゾーン機関は、ネットワークメンバーのすべての設定を管理する機関です。ネットワークゾーンオペレーターはコンソーシアムセントラル構成ダッシュボードにアクセスして、コンソーシアムメンバーの構成オプションを管理できます。メンバーの構成を表示するには、[メンバー構成](#)を参照してください。

ネットワークゾーンの構成

ネットワークゾーンの機関構成を表示するには：

1. Alma UIから、設定メニュー> ネットワークゾーンを選択します。

コンソーシアム セントラル構成ダッシュボードが表示されます。



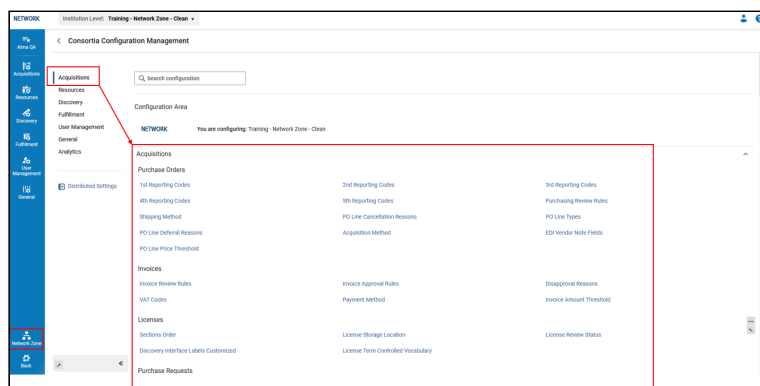
コンソーシアムセントラル構成ダッシュボード - ネットワーク機関の構成設定

2. 左上の機関レベル:というタブに、ネットワークゾーン機関の管理が表示されます。
3. すべての構成オプション（現在利用可能なもの）が表示されます。
画面の左側のペインにはセクションペインがあります。管理者はセクションを選択できます。たとえば、受入では、画面右側のドロワーセクションで、選択したセクションのすべての構成オプションを表示します。セクションと設定オプションの詳細については、[セクションと構成オプション](#)を参照してください。ネットワークメンバーの設定オプションを管理する方法の詳細については、[メンバー構成](#)を参照してください。

Note

現在ダッシュボードに埋め込まれているのは、Almaのコードテーブル、マッピングテーブル、ルール（部分的）に関連する設定オプションのみです！

今後のリリースでは追加の構成オプションが追加される予定です。



コンソーシアムセントラル構成ダッシュボード

4. ネットワーク管理者は、ネットワーク全体の運用のために構成を管理したり、構成をメンバーに配布したりすることができます。

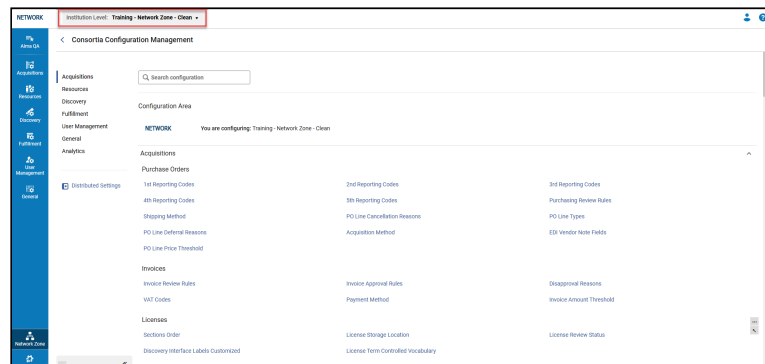
メンバー構成

メンバーは、コンソーシアムに所属する個々の機関です。各メンバーは複数のライブラリを持つことができます。たとえば、**University-Main**という名前の機関は、**Law-Dept**、**Art-Dept**、**Psychology-Dept**など、管理する多数のライブラリを持つことができます。

メンバー構成を表示するには:

1. Alma UIから、**設定メニュー** > **ネットワークゾーン**を選択します。

コンソーシアム セントラル構成ダッシュボードが表示されます。



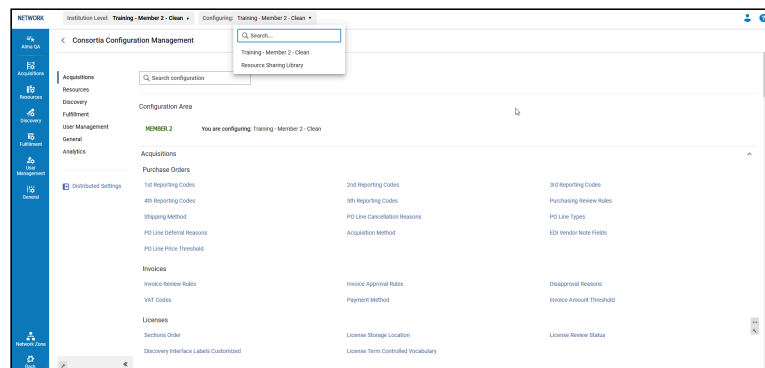
コンソーシアムセントラル構成ダッシュボード - ネットワーク機関の構成設定

2. 左上の**機関レベル:**というタブに、デフォルトで、ネットワークゾーン機関の管理が表示されます。
3. 機関を選択すると、2番目のタブ (**設定:**) が表示され、ユーザーは機関に焦点を絞ったまま、または機関のライブラリーの1つを選択することができます。

Note

ダッシュボードで機関を切り替えても、ネットワークゾーン環境からログアウトしません。ネットワークゾーン管理者はログインしたまま、ネットワークゾーン機関を離れることなく、各ネットワークメンバーの構成オプションを管理できます。

4. 構成タブで、ドロップメニューから目的の**図書館**を選択します。
選択したメンバーの構成が画面の右側のペインに表示されます。
セクションと設定オプションの詳細については、[セクションと構成オプション](#)を参照してください。
メンバーの設定オプションを管理する方法の詳細については、[メンバー構成](#)を参照してください。



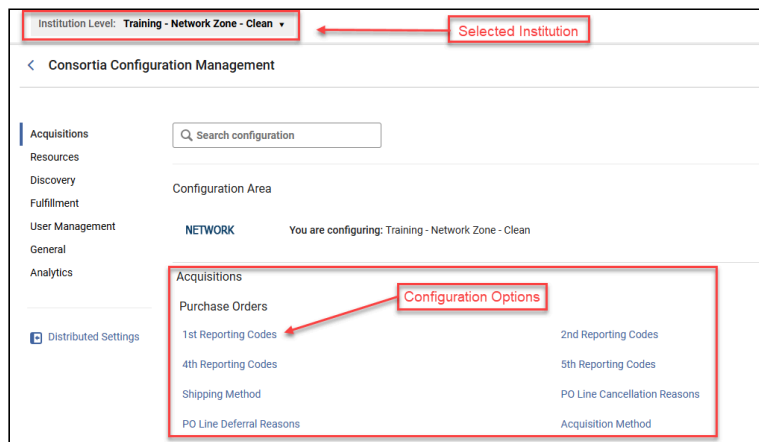
ネットワークメンバー構成オプション

ネットワーク構成をメンバーに配布

ネットワークゾーン管理者は、次の3つのモードのいずれかを使用して、更新された構成変更を選択したメンバーまたはメンバー全員にプッシュまたは適用できます：提案済み、強制、そしてハイブリッド。詳細については、[配布モード](#)を参照してください。

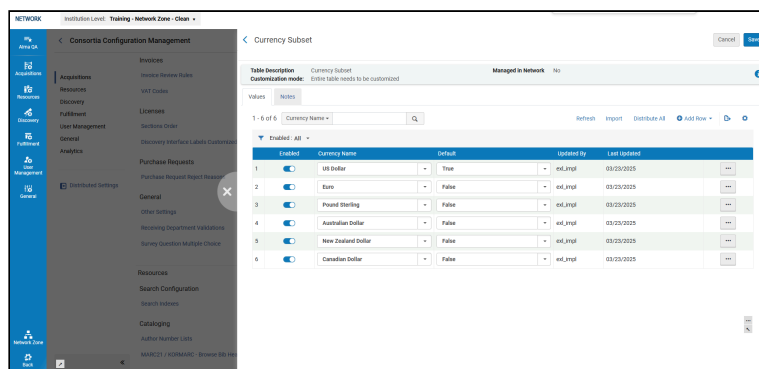
構成の更新をメンバーに配布するには：

1. コンソーシアムセントラル構成ダッシュボードにアクセスします。設定メニュー>ネットワークゾーン。
2. 機関レベル:タブで、ネットワークゾーン機関は、その構成設定を表示できます。詳細については、[ネットワークゾーンの構成](#)を参照してください。



コンソーシアムセントラル構成ダッシュボードで選択された機関

3. 画面の右側のペインで、更新する構成オプションを選択します。選択した構成オプションの設定がスライドパネルに表示されます。



スライドパネルの機関レベルの設定オプション

4. 以下のオプションのいずれかまたは両方を実行して構成を更新します：
 - a. 行を追加（

 Add Row ▾

):

- i. 行を追加を選択します。
- ii. ドロップダウンメニューリストで、名前セクションで追加するフィールドを選択します。
- iii. デフォルト値で**True**または**False**を選択します。

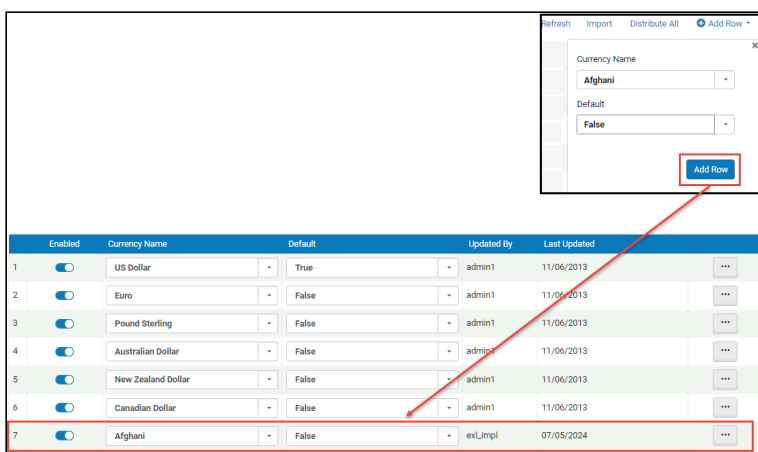
Note

「行の追加」ドロップダウンメニューにリストされるフィールドと値は、選択した構成オプションに応じて動的に表示されます。

iv. 行を追加を選択します (



)。フィールドとその値が追加されます



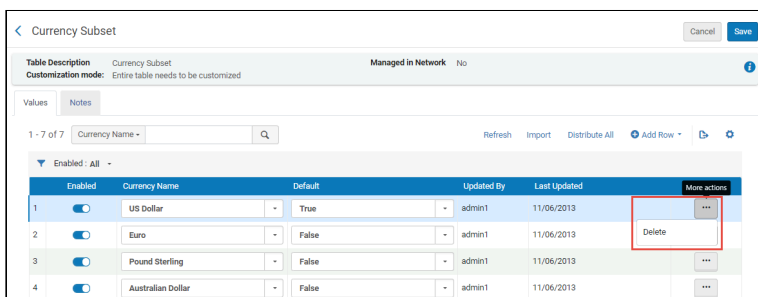
設定オプションに行を追加

b. 行を削除します。

- i. 選択した設定オプションのフィールドと値のリスト（例えば、通貨サブセット）で、削除するフィールドを探し、その他のアクションボタンをクリックします(



)を選択し、削除を選択します。
選択した行が削除されます。



行を削除

5. 保存を選択します。
選択した構成オプションに加えられた変更が保存されます。
6. すべて配布（テーブル/行の継承設定）または選択した資料を配布（行の継承設定のみ）を選択します。
配布の確定画面が表示されます。

Confirm Distribution

Are you sure you want to save and distribute 'CurrencySubset' table data to all members?

Distribution mode: Do not override member institution customization

Distribute to all:

Members:

Groups:

配布を確定

7. 次のフィールドを指定します：

フ ィ ー ル ド	説 明
配 信 モ ー ド	<p>配布設定で定義されたモードに応じて、以下が表示されます：</p> <hr/> <p>Note</p> <p>ハイブリッド モードのみでは、ネットワーク ゾーン管理者は、メンバーに配布する前にいずれかのモードを選択できません。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 提案モードが定義されている場合、ネットワーク ゾーン管理者は、次の無効なフィールドが選択されていることを受領します： <ul style="list-style-type: none"> メンバー機関のカスタマイズを上書きしない <p>これは、（ネットワーク管理者による）構成オプションの変更が要求されるのではなく、提案されることを意味します。メンバーの誰かが、その環境において、すぐに使える構成にカスタマイズや変更を加えた場合、ネットワーク ゾーン管理者が提案した変更は有効になりません。</p> ◦ 強制モードが定義されている場合、ネットワーク ゾーン管理者は、次の無効なフィールドが選択されていることを受領します： <ul style="list-style-type: none"> メンバー機関のカスタマイズを上書きする <p>これは、（ネットワーク管理者による）設定オプションの変更が 要求される ことを意味します。環境内の 事前定義済み設定へのカスタマイズや変更に関係なく、ネットワーク ゾーン管理者が強制した変更はメンバーの構成よりも優先されます。</p> ◦ ハイブリッドモードが定義されると、ネットワーク ゾーン管理者はドロップダウン メニューから次の 2 つのオプションを選択できます： <ul style="list-style-type: none"> ▪ メンバー機関のカスタマイズを上書きしない（提案モード） ▪ メンバー機関のカスタマイズを上書きする（強制モード）
す べ て に 配 布	<p>このチェックボックスを選択すると、構成の変更または更新がすべてのメンバー機関に配布されます。</p>
メ ン	<p>このフィールドをクリックし、ドロップ メニューにリストされているメンバーを選択するか、個々のメンバーの名前を入力して配布リストに追加します。</p>

フィールド	説明
バー	<p>複数選択が有効になっています。</p>  <p>メンバー選択フィールド</p>
グループ	<p>グループが定義されている場合は、それらが表示され、ネットワークゾーン管理者はフィールドのドロップダウンメニューから選択できます。</p> <p>グループの詳細については、ネットワーク管理グループの作成を参照してください。</p>

8. **[確認]**を選択します。
更新された構成は、選択したメンバーに即座に配布されます。

Note

別の構成オプションの更新または変更をメンバーに配布するには、各構成オプションについて手順**1**～**8**を繰り返します。

配布情報 と ステータス

ネットワークゾーン管理者は、メンバーに設定を配布した後、そのステータスを確認することができます。情報およびステータスは次の方法で表示できます:

- [ネットワークゾーンレベルでの配布ステータスでは、ネットワークゾーンの管理者は、ネットワークゾーンから配布された構成の情報とステータスを表示できます。](#)
- [ダッシュボードからのメンバーレベルの配布情報によって、](#)
ネットワークゾーン管理者は、メンバーに配布された設定が正常に適用されたかどうか、誰が、何日に適用したかを確認できます。
- [機関環境からのメンバーレベルでの配布情報によって、](#)
ローカル機関の管理者は、ネットワークによってプッシュされた分散構成を見ることができます。
- [ネットワークゾーンからの配布に関するメンバーへの自動通知](#)
「コンソーシアム配布通知レター」は、ネットワークゾーンから配布されたアップデート情報について、メンバーに自動的に通知する機能を提供します。ネットワークゾーン管理者はこれを設定できます。

Note

サンドボックス環境で配布機能のテストを行う際は、ネットワークゾーン (NZ) 1レベルで追加の設定手順が必要と

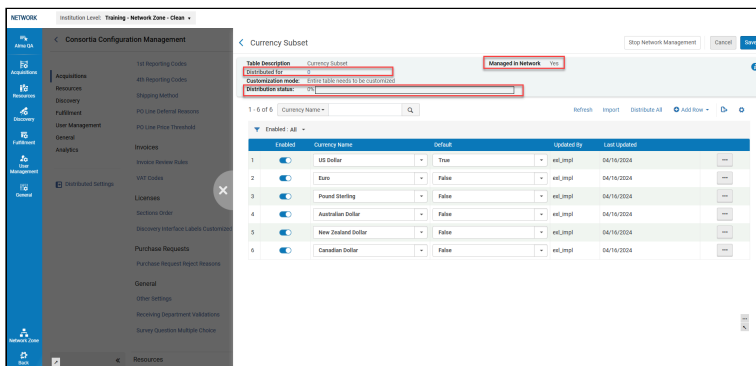
なります。メンバー機関のすべての管理者Eメールアドレスを含めるよう、[許可されたEメールアドレス]リストを設定する必要があります。このリストにメールアドレスが一つでも含まれていない場合、[コンソーシアム配布通知レター]の送信は失敗します。

許可されたEメールの設定手順については、「[外部システム](#)」をご参照ください。

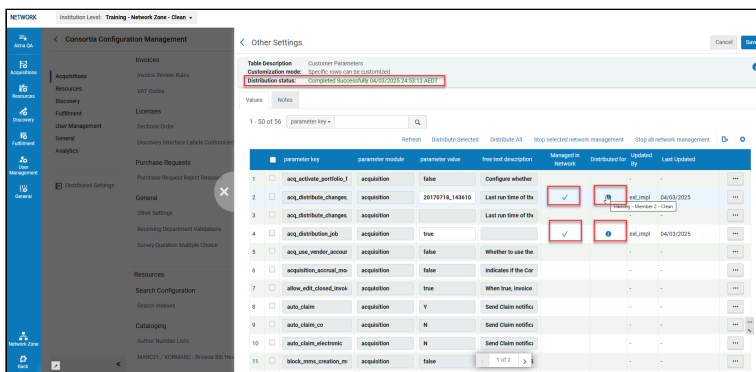
ネットワークゾーンレベルにおける配布ステータス

ネットワークゾーンレベルで配布ステータスを表示するには、次の手順を実行します：

1. ネットワークゾーンで、メンバーに配布された構成（たとえば、通貨サブセット）を選択します。
2. ネットワーク管理者によって配布された構成オプションは、ネットワーク管理フィールドに「はい」と表示されます。
3. 設定が配布されたメンバー機関は、進行状況バーの上部にカウンタ（テーブルレベルの継承の場合）、または「i」（行レベルの継承の場合）が付いた配布先の列に表示されます。
4. 上部の説明バーには、追加のステータス行（配布ステータス）が表示されます。
5. ステータス進行状況バーは、メンバーへの配布がどの程度完了したかを（パーセントで）表示します。
6. 進行状況バーの下にある更新ボタンにより、ネットワーク管理者は配布の進行状況を追跡することができます。
7. 更新者列はネットワークオペレータユーザーを示します。最終更新列は配布日を示します。



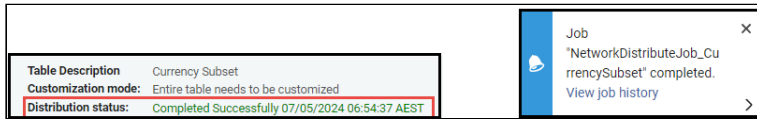
ネットワークゾーンレベルでの配布ステータス - テーブルレベルの継承



ネットワークゾーンレベルでの配布ステータス - 行レベルの継承

配布が完了すると、配布ステータスの行に、日付とタイムスタンプとともに「正常に完了しました」と表示されます。

また、配布プロセスが完了したことをネットワーク管理者に通知する通知メッセージが表示されます。

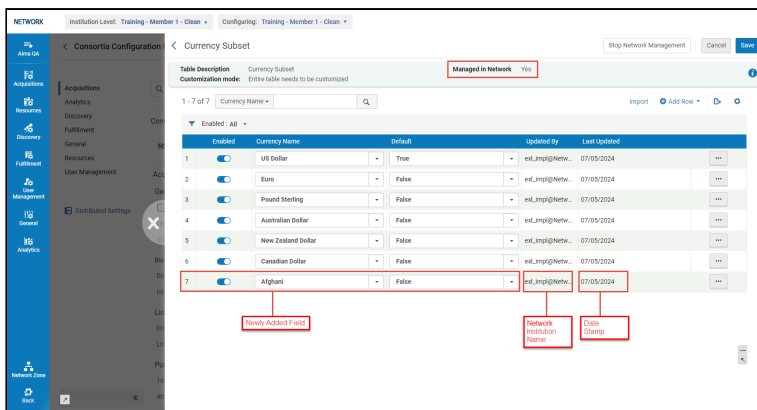


配布ステータスの完了と通知メッセージ

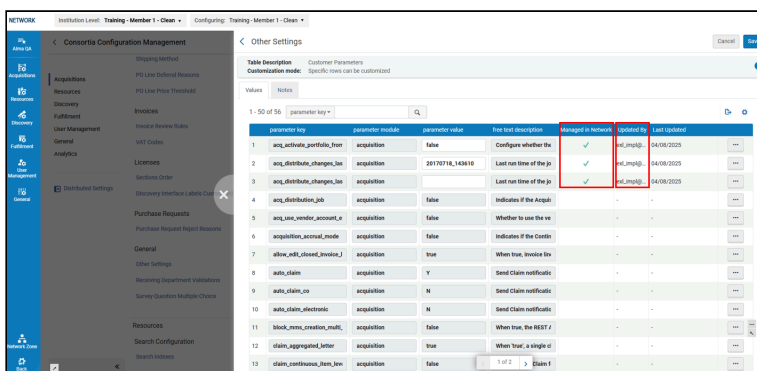
ダッシュボードからメンバーレベルでの配布情報

ダッシュボードからメンバーレベルでの配布情報とステータスを表示するには、次の手順を実行します：

1. 機関レベル：のドロップダウンからメンバーを選択します。
2. 配布された構成、例えば、通貨サブセットを選択します。
3. 新しいアップデートがテーブルに表示されていることに注意してください。
4. ネットワークで管理フィールドは「はい」を示します。
5. 更新者列において、ネットワークゾーンオペレータの名前は、<user>@Networkのように表示されます。
6. 最終更新列には、配布が完了した日付が表示されます。



メンバー環境における配布設定のステータス - テーブルレベルの継承

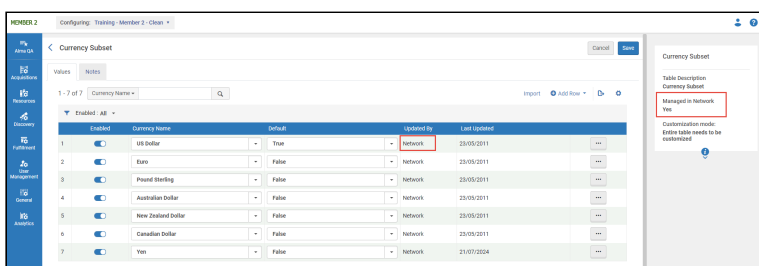


メンバーの環境における配布設定のステータス - 行レベルの継承

機関環境からのメンバーレベルの配布情報

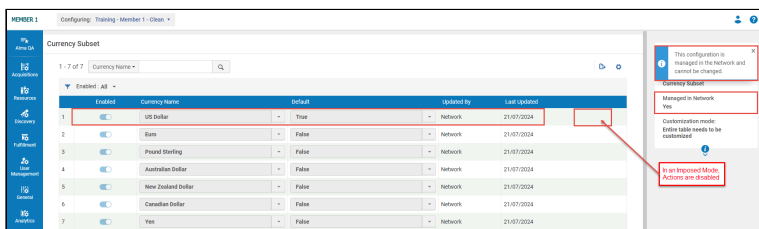
機関環境からメンバーレベルで配布情報とステータスを表示するには、次の手順を実行します：

1. 機関ゾーンにログインします。
2. Almaの構成メニューに移動し、分散された構成（例えば、通貨サブセット）を選択します。
3. 更新者列には、変更の発生元を知らせるために、「ネットワーク」と表示されます。
4. 最終更新列には、配布が完了した日付が表示されます。
5. ネットワークで管理フィールドは「はい」を示します。
6. メンバー機関環境でローカル機関管理者が利用できる情報は、ネットワークゾーン管理者が選択した配布モードによって異なります。
 - 配布モードが提案の場合、ローカル管理者は、テーブルの各行を有効または無効にし、必要に応じてデフォルト情報を変更できます。

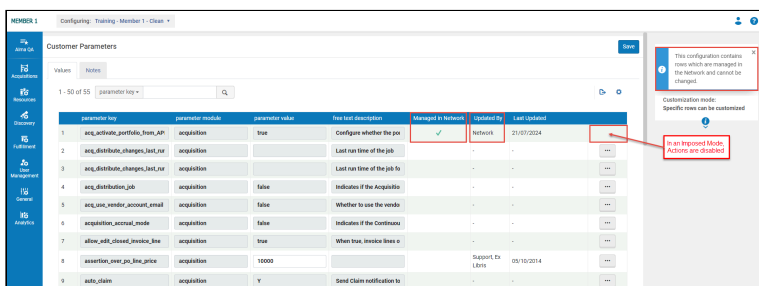


提案配布モードの場合の機関ビューからの配布構成

- 配布モードが強制の場合、ローカル管理者はテーブル行を有効化または無効化できず、デフォルト情報も変更できません。構成内のすべての要素は無効化され、ネットワークによって管理されます。



強制配布モード時の機関ビューからの分散構成 - テーブルレベルの継承



強制配布モード時の機関ビューからの配布構成 - 行レベルの継承

ネットワークゾーン配布に関するメンバーへの自動通知

この機能を有効にすると、ネットワークゾーンからのアップデートが中央設定ダッシュボードを通じてメンバーに配布された際に、「コンソーシア配布通知レター」が自動的に送信されます。ネットワークゾーン管理者は、このレターを無効化したり内容を変更したりできます（「[ネットワークゾーンでのレターの集中管理](#)」を参照）。このレターは、ネットワークゾーン管理者がメンバー機関の設定管理を中止した際にも、メンバーに通知が送られるように設定されています（「[ネットワーク管理の停止](#)」を参照）。

Note

このレターは、設定領域を担当する機関ゾーン（IZ）の管理者（システム全般管理者、ユーザー管理者、受入管理者、フルフィルメント管理者、リポジトリ管理者、目録管理者、レター管理者、アナリティクス管理者、ディスクバリー管理者）に送信され、常にシステム全般管理者がCCに含まれます。Almaは、各設定領域のIZ管理者を、特定のユーザーごとに有効化されている役割に基づいて判断します。

「[Alma レターの設定](#)」も併せてご参照ください。

ネットワーク管理を停止する

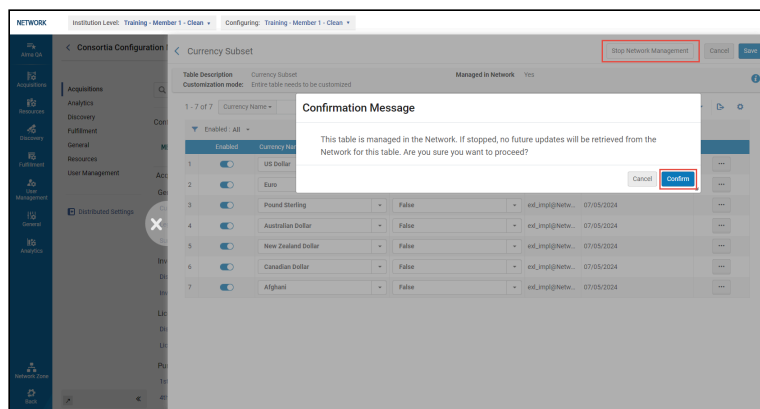
ネットワークゾーン管理者は、いつでもメンバーの設定管理を中止することができます。このオプションを選択すると、それまでに管理者によって設定されたすべての構成が保持され、有効になっていれば「コンソーシアム配布通知レター」が自動的に送信されます（「[ネットワークゾーンからの配布に関するメンバーへの自動通知](#)」を参照）。以降、各メンバーが個別に行う設定のカスタマイズについては、ネットワーク機関の管理者によって管理されません。

Note

ネットワーク管理の停止は、個々の構成ごとに行われます。

ネットワーク管理を停止するには：

1. 配布された目的の構成（たとえば、通貨サブセット）にアクセスします。
2. ネットワーク管理の停止ボタンを選択します。
確認メッセージが表示されます。
3. [確認]を選択します。



ネットワーク管理の停止 - 確認メッセージ

ネットワーク管理下の設定のリリースをリクエスト

ネットワークゾーン（NZ）設定を利用した共同ネットワークの環境では、中央事務局によって管理されている設定が、ローカルでの修正を制限する「強制モード」で機関ゾーン（IZ）に配布されることがあります。柔軟性を高めるために、機関ゾーン管理者（メンバーレベル）は、特定の設定に対する強制モードの解除をリクエストすることができ、中央管理を

維持しながらローカルでのカスタマイズが可能になります。

この機能は、強制モードが適用されている設定ページに直接統合されています。機関ゾーン管理者は解除リクエストを送信することができます。これを送信すると、ネットワークゾーン管理者に通知が届き、リクエストを承認するかどうかを判断します。承認された場合、ネットワークゾーン管理者は、すべてのメンバーに対してではなく、リクエストされた設定に対して個別に [ネットワーク管理を停止する](#) ことができます。

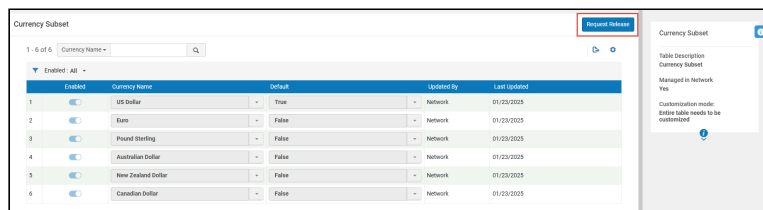
このプロセスをサポートするために、強制モードで管理されている設定には、コード、マッピング、またはルールのレベルで解除リクエスト ボタンが追加されています。実行されると、自動Eメール通知が該当するネットワークゾーン管理者に送信され、リクエストの内容と承認手順が案内されます。さらに、「ネットワーク管理の停止」プロセスが強化され、特定のメンバーに対して設定を個別に解除できるようになり、ガバナンスとカスタマイズの柔軟性が向上しました。

機関メンバーによる解除リクエスト

強制モードでネットワークゾーンから新しい設定を受け取った機関メンバーは、その設定を編集・変更することはできません。その設定は無効化された状態で表示されます。メンバーは、新しい設定をローカルで変更できるように、ネットワークゾーンの管理者に対してその設定の強制モード解除をリクエストすることができます。

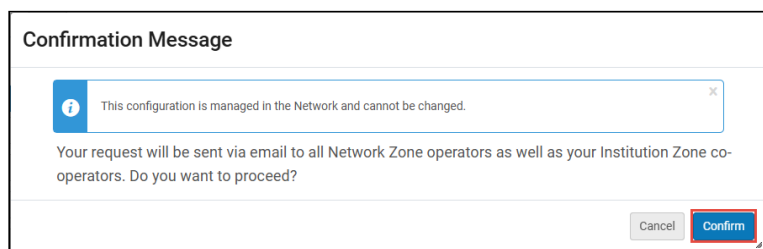
解除をリクエストするには：

1. ネットワークゾーンによって強制管理されている設定ページにアクセスします。たとえば、**[通貨サブセット]** (**[設定メニュー]** > **[受入]** > **[一般]** > **[通貨サブセット]**) などです。
2. **[通貨サブセット]** の設定ページで、**[解除リクエスト]** を選択します。



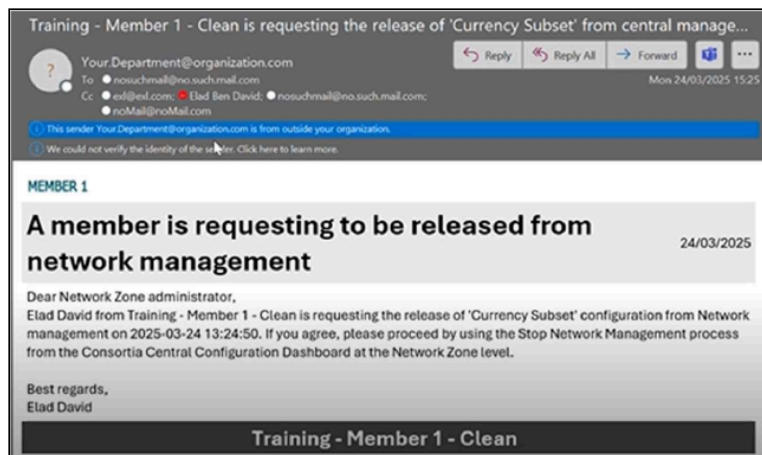
解除リクエストボタン

3. 確認メッセージで **[確認]** を選択します。



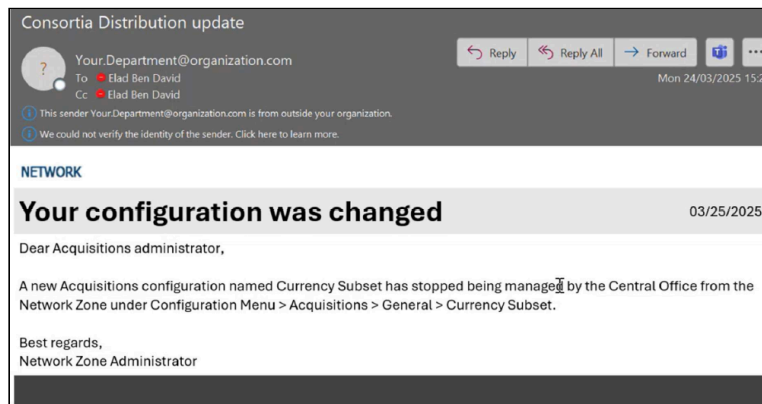
解除リクエスト確認メッセージ

4. すべてのネットワークゾーン管理者に、要求を通知するEメール通知レターが送信されます。



解除リクエストEメール - メンバーから管理者へ

5. 強制モードからの構成解除を承認するネットワークゾーン管理者は、特定のメンバーの設定に対して「[ネットワーク管理を停止](#)」操作を行います。
6. ネットワークゾーンの管理者が構成を強制モードから解除すると、メンバーには以下の通知メールが送信されます。メンバーは、構成をローカルで変更できるようになります。



解除リクエストEメール - 管理者からメンバーへ

メンバーレベルからのネットワークゾーン設定の表示

メンバー機関の管理者は、ネットワークゾーン管理者によって設定された設定を中央設定ダッシュボードから確認することができます（「[中央設定ダッシュボードの概要](#)」を参照）。これにより、機関管理者は特定の設定に対する中央オフィスの推奨内容を表示専用モードで確認できます。

Note

これは、ネットワークゾーンを設定しているコンソーシアムにのみ該当します。

前提条件

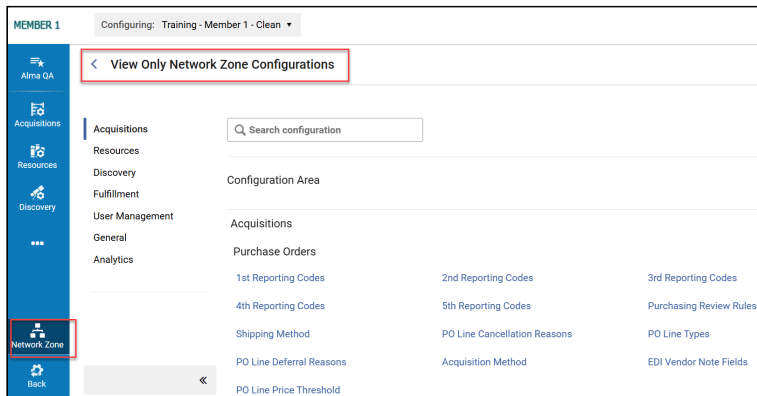
メンバー機関が自機関の画面からネットワーク構成を閲覧できるようにするには、ネットワークゾーン側で [中央設定ダッシュボード] > [一般] > [一般的な設定] > [その他の設定] にある `consortia_enable_member_network_view` パラメータを

true に設定する必要があります。

機関ゾーン管理者としてネットワークゾーン設定を閲覧する

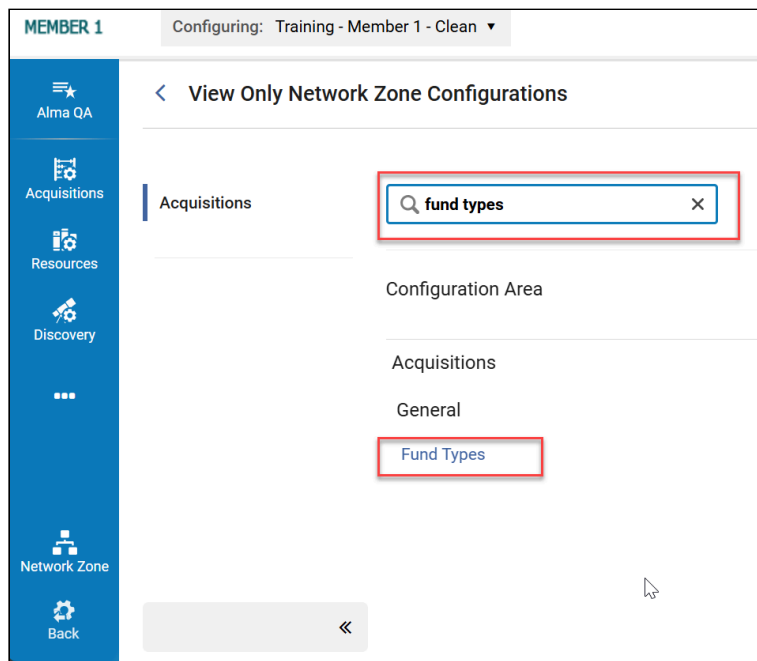
機関ゾーン管理者としてネットワークゾーンの構成を閲覧するためには：

1. Alma の UI で[設定メニュー]>[ネットワークゾーン]を選択し、中央設定ダッシュボードにアクセスします。
これにより、閲覧専用のネットワークゾーン設定ダッシュボードが表示され、ネットワーク管理者によるカスタマイズ内容を確認できるようになります。



ネットワークゾーン設定のみを表示

2. 表示したい対象エリアを検索して結果から選ぶか、スクロールして該当エリアを選択します。



3. これで、選択したエリアのネットワーク設定を閲覧できます。

Enabled	Code	Description	Updated By	Last Updated
<input checked="" type="checkbox"/>	General	General	-	-
<input checked="" type="checkbox"/>	Endowed	Endowed	-	-
<input checked="" type="checkbox"/>	ResourceSharing	Resource Sharing	-	-
<input checked="" type="checkbox"/>	Grant	Grant	-	-
<input checked="" type="checkbox"/>	Income	Income	-	-

Note

次の設定は、ネットワーク情報がローカル設定に既に含まれているため表示されません：

- DISPLAY LOGIC RULE,
- ROTA_ASSIGNMENT_RULE,
- SEND_BORROWING_REQUEST_RULE,
- DESCRIPTION_TEMPLATE_SETUP_RULE,
- REPRESENTATION_LABEL_TEMPLATE_SETUP_RULE

機関ゾーン管理者としてネットワークゾーン設定をコピーする

前提条件

メンバー機関がローカル環境からネットワーク構成を閲覧できるようにするには、ネットワークゾーンで [\[中央設定ダッシュボード\] > \[一般\] > \[一般的な設定\] > \[その他の設定\]](#) にある `consortia_enable_member_network_view` パラメータを `true` に設定する必要があります。

Note

- この機能は、OTB のままの設定またはローカルでカスタマイズされた設定に対してのみ有効です。
- この設定がすでにネットワークによって強制モードで管理されている場合（「[メンバーに設定を配布する](#)」を参照）、この機能は表示されません。顧客は、特定の構成に対して解除をリクエストすることも可能です（「[コンソーシア中央設定ダッシュボード](#)」を参照）。
- 以下のルールについては、すでにローカル設定にネットワーク設定が表示されているため、この機能は利用できません。
 - Display_Logic_Rules
 - Rota_Assignment_Rule
 - Send_Borrowing_Request_Rule
 - Description_Template_Setup_Rule

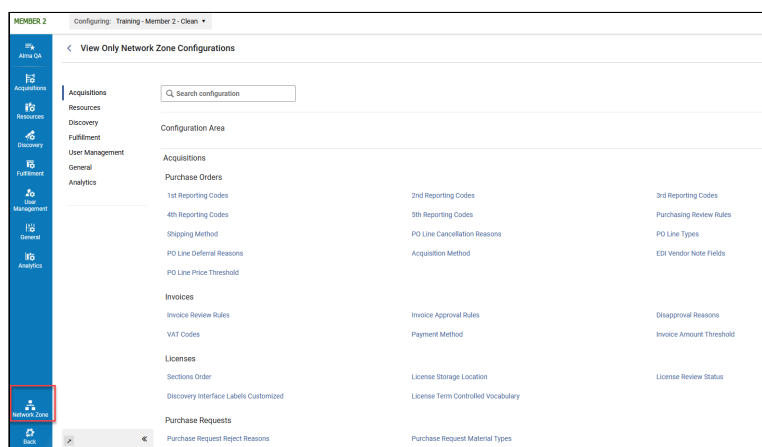
- Representation_Label_Template_Setup_Rule

機関ゾーン管理者としてネットワークゾーン設定をコピーする

機関ゾーンのメンバー管理者は、ネットワークの中央事務局による設定をコピーすることができ、メンバー管理者とネットワークゾーン 管理者の連携と柔軟性が向上します。

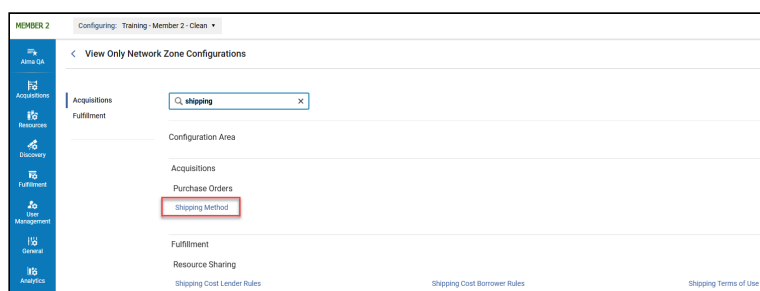
機関ゾーン管理者としてネットワークゾーンの設定をコピーするには：

1. Alma の UI で **[設定メニュー]>[ネットワークゾーン]** を選択し、中央設定ダッシュボードにアクセスします。
これにより、**閲覧専用のネットワークゾーン設定ダッシュボード**が表示され、ネットワーク管理者によるカスタマイズ内容を確認できるようになります。



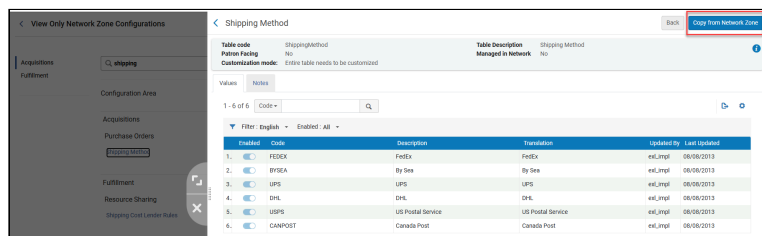
ネットワークゾーン設定のみを表示

2. コピーしたい特定の設定項目を検索して検索結果から選択するか、該当する領域までスクロールして選択します。



コピーする領域を検索

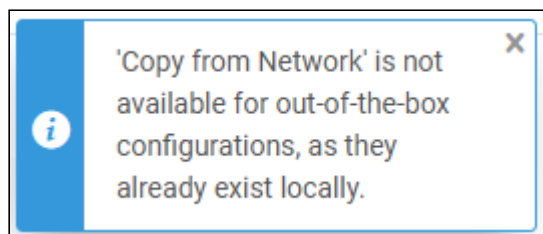
3. 選択した設定画面で、**[ネットワークゾーンからコピー]** ボタンを選択することで、ネットワークの設定をコピーすることができます。



ネットワークゾーンからコピー

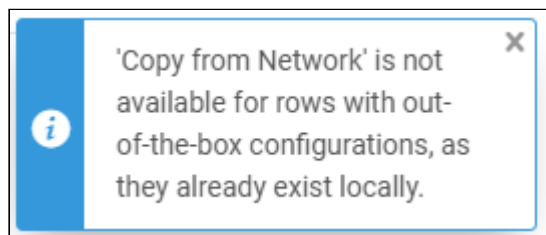
既存のデータをネットワークのデータで上書きすることを確認するメッセージが表示されます。コピーを実行するには、**[確認]**を選択します。完了すると成功が表示されます。

4. テーブルレベルでの設定の場合、次のメッセージが表示される場合があります。



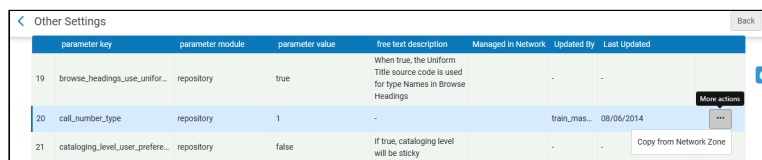
これは、ネットワークレベルと機関レベルの両方の設定が OTBであることを示します。

5. 行レベルでの設定の場合、次のメッセージが表示される場合があります。



これは、ネットワークレベルと機関レベルの両方の設定が OTBであることを示します。

行レベルの設定では、一部の行では**[ネットワークゾーンからコピー]**アクションが利用可能になります。これは、カスタマイズが機関レベルまたはネットワークゾーンレベルで行われたためです。



一部の行では、**[ネットワークゾーンからコピー]**アクションは利用できません、これは、機関レベルとネットワークゾーンレベルの両方の構成が OTB であるためです。